

イチゴのナミハダニに対する各種薬剤の殺虫効果

農業研究部・病害虫チーム

1. 研究の背景

イチゴ栽培において、ハダニ類による被害が大きく、多発すると防除が困難になる。現地ではナミハダニに対する薬剤の効力低下が懸念されている。そこで、県内のイチゴ栽培圃場を中心に、6カ所からナミハダニを採集し、各種薬剤の殺虫効果検定を実施し、有効な薬剤を明らかにした。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

- ①雌成虫に対して、アファーム乳剤は高い殺虫効果が認められる(表1)。
- ②カネマイトフロアブル、ピラニカEW、サンマイトフロアブルの殺虫効果は総じて低い(表1)。
- ③卵に対して、スターマイトフロアブルは高い殺卵効果が認められる(表2)。
- ④ピラニカEW、ロディー乳剤、サンマイトフロアブル、マイトコーネフロアブル、アーデント水和剤の殺卵効果は総じて低い(表2)。

表 イチゴのナミハダニ雌成虫に対する殺虫効果（薬剤処理48時間後の死虫率）

薬剤系統	供試薬剤	濃度	補正死虫率(%) ¹⁾					
			国東市	佐伯市	玖珠町	臼杵市	豊後大野市	試験場内
マクロライド系	アファーム乳剤	2,000倍	100	81.0	100	100	100	100
	コロマイト水和剤	2,000倍	34.5	78.7	15.0	98.5	14.6	27.8
殺ダニ剤	スターマイトフロアブル	2,000倍	79.8	87.3	95.5	96.8	64.6	90.5
	ダニサラバフロアブル	1,000倍	14.6	89.7	74.6	89.4	21.3	67.6
	マイトコーネフロアブル	1,000倍	40.0	76.0	38.0	97.2	31.7	24.3
	カネマイトフロアブル	1,000倍	40.3	34.6	14.4	58.6	34.9	14.9
	ピラニカEW	2,000倍	25.7	47.8	30.2	58.4	9.8	14.8
	サンマイトフロアブル	1,000倍	20.0	34.7	48.1	40.0	11.0	8.1
ピレスロイド系	ロディー乳剤	1,000倍	22.6	81.0	29.8	81.9	11.2	11.1
	アーデント水和剤	1,000倍	24.8	88.9	22.4	63.5	9.7	17.8
その他	コテツフロアブル	2,000倍	35.3	72.1	25.8	62.0	15.7	15.1

1) 死虫率はAbbottの補正式で補正した値

表 イチゴのナミハダニ卵に対する殺虫効果（薬剤処理168時間後の死卵率）

薬剤系統	供試薬剤	濃度	補正死卵率(%) ¹⁾				
			国東市	佐伯市	玖珠町	臼杵市	試験場内
マクロライド系	アファーム乳剤	2,000倍	60.4	49.0	22.0	5.5	34.2
	コロマイト水和剤	2,000倍	100	87.0	93.0	83.7	73.1
殺ダニ剤	スターマイトフロアブル	2,000倍	87.2	100	100	99.6	100
	ダニサラバフロアブル	1,000倍	98.5	76.0	76.5	20.0	64.9
	マイトコーネフロアブル	1,000倍	2.2	6.5	3.8	54.4	3.2
	カネマイトフロアブル	1,000倍	94.0	90.9	85.4	43.3	10.8
	ピラニカEW	2,000倍	4.4	4.8	39.2	53.6	22.0
	サンマイトフロアブル	1,000倍	3.1	5.8	8.9	44.6	10.4
ピレスロイド系	ロディー乳剤	1,000倍	2.5	8.1	4.3	40.2	30.8
	アーデント水和剤	1,000倍	0	7.3	0.6	11.2	5.2
その他	コテツフロアブル	2,000倍	40.0	89.7	84.8	60.9	44.3

1) 死卵率はAbbottの補正式で補正した値

3. 期待される効果

ナミハダニ雌成虫、および卵に対して有効薬剤を明らかにし、生産現場でのハダニ類の防除体系を確立する

4. 担当機関連絡先

農業研究部 病害虫チーム

TEL：0974-28-2078

住所：豊後大野市三重町赤嶺2328-8